

# 群策会・李登輝学校一行が大挙来日し 国会議員らと交流

## 本誌編集部



李登輝学校校長に川津川会長が校旗を贈呈する黄団長

## 第一陣は日光で交流

去る九月十五日、李登輝前総統が理事長をつとめる群策会の副理事長で元総統府秘書長（内閣官房長官に相当）

の黄昆輝氏を団長に、李前総統次女の李安妮・台湾綜合研究院副院長を副団長とする群策会・李登輝学校の一行四十二名が日本国内で開催されるフォーラム参加を主な目的として来日し、二十日、全日程を終えて帰台した。

第一陣の阮銘・台湾綜合研究院顧問（前総統府国策顧問）、小栗山雪枝・台湾綜合研究院顧問、莊孟学・群策会活動処処長（栃木県日台親善協会顧問）ら二十名は九月十五日に来日して日光まで足を伸ばし、栃木県日台親善協会（宇井肇会長、本会理事）招待による

日光・堯心亭における晩餐会で会席料理と精進料理を存分に味わった。

この席には、同会顧問でもある林建良・本会常務理事と柚原正敬・本会事務局長、成田空港まで出迎えて日光に案内した薛格芳・本会理事も参加し、莊孟学氏などと久闊を叙した。

翌十六日午前に開かれた栃木県日台親善協会主催の懇談会には柚原事務局長も臨み、薛理事は通訳をつとめた。

この懇談会には宇井会長や宇井貴彦事務局長をはじめとする栃木県日台親善協会会員とともに、栃木出身の森山真弓・元官房長官や斎藤文夫・日光市長、眞杉瑞夫・前日光市長なども出席、日本側が三十三名、台湾側が二十一名の計五十四名が出席する一大イベントとなった。自己紹介などを通じて

一行と交流した。

一方、黄昆輝団長ら第二陣は十六日夕方の便で来日し、十七・十八日の両日、六本木の国際文化会館において、アジア太平洋交流学会（小田村四郎会長、久保田信之理事長）と合同で「グローバル化と日台の未来」をメインテーマに「第二回日台アジア太平洋未来フォーラム」を開いた。

このフォーラムの冒頭、李前総統はビデオを通じて「中国の台頭と覇権拡張を阻止するため、日本が率先して自由主義国の連携を強化すべきで、『一つの中国』という根拠のない考え方に終止符を打つべきだ」と挨拶された。

## 国会議員や都議会議員と懇談

十九日は三組に分かれ、第一組は国会議員懇談会、第二組は都議会議員懇談会、第三組は都内観光に臨んだ。

第一組は黄昆輝氏を団長に、羅福全（亜東関係協会会長）、黄天麟（前総統府国策顧問、元第一銀行理事長）、蔡



民主党の「日本台湾安保経済研究会」との懇談会で挨拶する黄昆輝団長（9月19日、キャピタル東急）

明憲（前国家安全会議副秘書長）、周美里（群策会研究所所長）、小栗山雪枝などの各氏が出席。王良原・東海大学助教授が通訳し、柚原事務局長が同行。

懇談会は民主党の「日本台湾安保経済研究会」と都内のホテルで開かれ、議連側からは中津川博郷会長（前衆議院議員）、田村秀昭顧問、田名部匡省顧問、大江康弘事務局長、野田佳彦、渡辺周、松原仁、池口修次、松下新平、榛葉賀津也の各氏が参加、安保問題や中国・台湾の経済問題などについて活発に意見交換した。中津川会長

も「国際会議は儀礼的に終りがちだが、非常に中身のある懇談となった」と、今後とも続けていきたい意向を表明した。

また、第二組は李安妮氏を団長に、黃昭堂（台湾独立建国聯盟主席）、阮鎰、頼怡忠（民進黨中国事務部主任）、蔡永泉（嘉義市議會議員）、張森富（台湾大学教授）の各氏が臨み、李清興・勝美旅行社社長が通訳をつとめ、永山英樹事務局長次長が同行。

懇談会は、昨年十二月十五日に発足した「東京都議会・自民党日台友好議員連盟」と議事堂にある自民党特別応接室で行われ、議連側からは樺山卓司会長、鈴木隆道副会長、小磯明幹幹事長、高木啓事務局長、秋田一郎会計担当、服部征夫監事、吉原修監事が出席、やはり活発な意見交換が行われた。

第三組は莊孟学氏を団長に、それ以外のメンバーで構成し、本会からは片木裕一事務局長次長と富澤賢公事務局長が同行して都内観光に臨んだ。まず李

登輝前総統が訪問を希望する江東区の芭蕉記念館を訪れると、そこに李登輝学校研修団第一期生の豊島成彦・江東区議が待ち構えて一行を案内した。次に江戸博物館を訪問。たつぷりと日本の江戸情緒を味わった。

一行は懇談会や観光が終るとしばし休憩の後、夕刻、台北駐日経済文化代表処（大使館に相当）の許世楷大使が主宰するレセプションに臨んだ。本会からも柚原事務局長や永山・片木両次長をはじめ、フォーラム用の中文レジユメの邦訳に携わった本会会員なども招待され、おいしい台湾料理を食べ紹興酒などを飲みつつ、話が弾んで大いに盛り上がる一夜となった。

帰台日となった二十日昼、宿泊先のホテルメトロポリタンには本会から約十名が見送りに駆けつけ、ロビーで名残を惜しみ、再会を約して「台湾万歳」の三唱とともにバスを見送ると、一行はバスの中から千切れんばかりに手を振りつつ成田空港へ向かった。